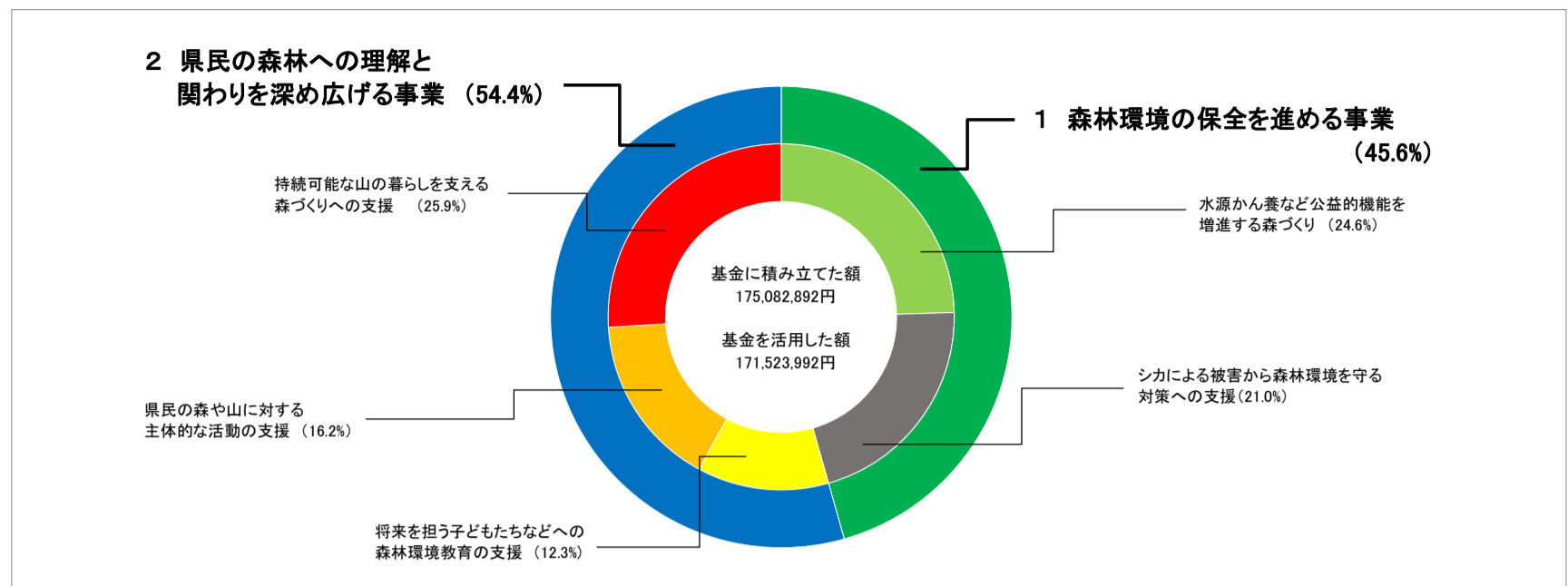


# 令和2年度 森林環境税の活用について（決算額）

参考③

県民の皆様からお預かりした森林環境税で、森林の公益的機能を高めるための間伐や、シカ被害対策などの「1 森林環境の保全を進める事業」と、小中学校などで行われる森林環境教育や「こうち山の日」の取り組み、公共的施設の木質化などの「2 県民の森林への理解と関わりを深め広げる事業」の2つの事業を柱に取り組みました。



## [ 内 訳 ]

(-) 一般財源 (入) 繰入金 (財) 財産収入 (寄) 寄附金収入			
<b>■基金に積み立てた額 175,082,892円</b>			
積立金	決算額	内容	内訳
森林環境保全基金積立金	175,082,892円	森林環境保全のための森林環境税の経理を区分するとともに、森林環境税による事業を計画的、効率的に実施するため、その税収相当額を基金に積み立てました。	森林環境保全基金積立額 175,082,892円
	(-) 174,792,763円 (財) 80,129円 (寄) 210,000円		・森林環境保全基金造成額 174,792,763円 ・運用益積立額 80,129円 ・寄附金積立額 210,000円
(-) 一般財源 (入) 繰入金 (財) 財産収入			
<b>■基金を活用した額 171,523,992円</b>			
事業名(担当課名)	決算額	内容	内訳
<b>1 森林環境の保全を進める事業</b>	<b>78,207,867円</b>		
	(入) 78,207,867円		
(1) 水源かん養など公益的機能を増進する森づくり	42,197,267円		
	(入) 42,197,267円		
①公益林保全整備事業 (林業振興・環境部 木材増産推進課)	14,184,800円	水源かん養機能等公益的機能が低い人工林(11~60年生)の保育間伐を推進することで、荒廃森林の発生を防止し、森林の持つ公益的機能が効果的に発揮されるよう森林の整備を行いました。	公益林保全整備事業費補助金 14,184,800円
②みどりの環境整備支援事業 (林業振興・環境部 木材増産推進課)	11,104,880円	C02吸収機能の高い人工林(11~45年生)の除間伐を促進しました。	みどりの環境整備支援交付金 11,104,880円
③造林事業(環境林整備事業) (林業振興・環境部 木材増産推進課)	10,270,652円	森林所有者の自助努力では適切な森林整備が期待できない森林において、森林所有者に代わって森林組合等が実施する人工林(11~60年生)の保育間伐を支援しました。	造林事業費補助金(環境林整備事業) 10,270,652円
④森林・山村多面的機能発揮対策支援事業 (林業振興・環境部 林業環境政策課)	6,636,935円	里山林の保全管理や資源を利用する活動を支援する国の森林・山村多面的機能発揮対策交付金による地域での取り組みを支援しました。	森林・山村多面的機能発揮対策支援事業補助金 6,636,935円
(2) シカによる被害から森林環境を守る対策への支援	36,010,600円		
	(入) 36,010,600円		
⑤鳥獣被害対策事業費 (中山間振興・交通部 鳥獣対策課)	21,108,900円	国有林内の自然植生被害が著しい高標域等の国有林内の鳥獣保護区でのシカ捕獲を推進し、自然植生被害の早期回復等を図ります。また、科学的根拠に基づく計画的なシカの管理を行うため最新のシカの個体数を推定するための生息状況調査を実施しました。	指定管理鳥獣捕獲等事業委託料 5,708,900円 シカ個体数調査委託料 15,400,000円
⑥希少動植物食害対策事業 (林業振興・環境部 環境共生課)	14,901,700円	ニホンジカによる希少野生植物の食害被害を防止するため、現況調査や防護ネットを設置します。また、設置箇所のモニタリングを継続して行いました。	希少野生植物食害防止対策(調査業務)委託料 2,262,700円 希少野生植物食害防止対策(防護柵設置業務)委託料 1,430,000円 希少野生植物食害防止対策(モニタリング調査業務)委託料 5,665,000円 希少野生植物食害防止対策(石組山系保護指針策定)委託料 5,544,000円
<b>2 県民の森林への理解と関わりを深め広げる事業</b>	<b>93,316,125円</b>		
	(入) 93,316,125円		
(1) 将来を担う子どもたちなどへの森林環境教育の支援	21,024,787円		
	(入) 21,024,787円		
⑦環境学習推進事業 (教育委員会事務局 生涯学習課)	2,364,631円	親子の自然体験活動等の機会の提供や小中学校の宿泊体験活動を支援しました。また、森林保全に関する体験活動を学校や社会教育の場で支援することのできる小学生から大学生までの地域人材を育成しました。	自然体験型学習事業 1,404,631円 子ども地域学習推進事業 960,000円
⑧森林環境保全事業 (教育委員会事務局 高等学校課)	1,125,602円	都市部に在住する子どもたちに森林保全の重要性を体験を通じて理解してもらい、森林保全を支援する人材を育成しました。	高校生森林環境理解事業 820,408円 高校生後継者育成事業 305,194円
⑨山の学習支援事業 (林業振興・環境部 林業環境政策課)	17,534,554円	小中学校が行う森林環境教育を支援しました。	山の学習支援事業費補助金 14,591,095円 ハンドブック作成委託料 2,907,619円 ハンドブック作成事務費 35,840円
(2) 県民の森や山に対する主体的な活動の支援	27,781,510円		
	(入) 27,781,510円		
⑩森づくりへの理解と参加を促す広報事業 (林業振興・環境部 林業環境政策課)	9,441,458円	森林への関心の高い方に限らず、幅広い県民を対象に、森林環境保全の意識を理解し、関心を深めていただくための情報発信を行いました。	森林環境情報誌作成等委託料 7,316,870円 森林環境学習フェア開催委託料 1,089,000円 森林環境教育副読本作成委託料 949,608円 事務費 85,980円
⑪こうち山の日推進事業 (林業振興・環境部 林業環境政策課)	8,196,605円	県民一人ひとりが森林や山を守る活動の重要性に対する理解と関心を深めていただくための「こうち山の日(11月11日)」を中心に、県民が主体となって行う活動を支援しました。	こうち山の日推進事業費補助金 5,483,634円 こうち山の日県民参加支援事業委託料 2,413,771円 インターネットホームページ作成委託料 299,200円
⑫木育指導員活動支援事業 (林業振興・環境部 林業環境政策課)	602,022円	県内での木育を推進することにより、木に対する親しみや関心を持ってもらうため、幼児等に対して行う木育の活動を支援しました。	木育指導員活動支援事業費補助金 602,022円
⑬鳥獣被害対策事業(シカ被害対策啓発事業委託料) (中山間振興・交通部 鳥獣対策課)	5,043,738円	シカが自然環境に与える影響や頭数管理の重要性について広く啓発し、その担い手である狩猟者の確保に向けた取組としてフォーラム、体験ツアー及び高校生等を対象とした出前授業を行いました。	シカ被害対策啓発事業委託料 4,950,000円 事務費 93,738円
⑭希少動植物保護対策事業(普及啓発事業委託料) (林業振興・環境部 環境共生課)	3,575,000円	広く県民に高知県の自然環境及び生物多様性の保全の必要性などの広報を行いました。	普及啓発事業委託料 3,575,000円
⑮運営委員会等開催費 (林業振興・環境部 林業環境政策課)	361,041円	県民意見の反映や森林環境保全基金の透明性を確保するための運営委員会を開催しました。	運営委員会開催等事務費 361,041円
⑯林業大学校研修事業費 (林業振興・環境部 森づくり推進課)	561,646円	森林保全ボランティア活動を行う方を対象に、伐倒作業等や車両系林業機械の操作等に係る研修を実施しました。	林業大学校(短期課程)研修業務等委託料 561,646円
(3) 持続可能な山の暮らしを支える森づくりへの支援	44,509,828円		
	(入) 44,509,828円		
⑰木の香るまちづくり推進事業費 (林業振興・環境部 木材産業振興課)	44,509,828円	県内の幼稚園、保育園、小中学校、公共的施設の行う木を活用した取り組みを支援しました。また、公共的空間の内外装に県産材を活用した整備を支援しました。	木の香るまちづくり推進事業費補助金 44,269,000円 事務費 240,828円